

1月30日(火)

手のひらから うまれるもの

おりがみを折る・文字を書く



一枚の正方形が、自分の手で折り進めることで作品になっていく楽しさは「次はこれを折ってみたい」と、新たな意欲を引き出します。絵を描くことでは筆圧の調整、頭の中でイメージした全体像をどのように表現していくか、という空間認識能力にも繋がります。

壊れないようにそーっと・・・掴む 蓋を開ける



寒い朝、土が凍ってキラキラと輝いている箇所を壊れないようにゆっくりと指を使ってすくいました。サクサクのクッキーのような軽さです。「チョコレートみたいだよ」と嬉しそう!



保育室のおもちゃはこのようにあえてひねって蓋を開ける容器に入れてあるものもあります。手首のしなやかさがが必要です。

物を持ち運んだり、文字を書いたり、蓋を開けたり…
こどもたちの身体機能のひとつ、手指の巧緻性は遊びの中で日々育まれています。今日はそんな瞬間を切り取ってみました。

大きなものを友達と運ぶ



自分たちで使ったものを力を合わせて片づけます。「いくよ」「せーのっ!」目と目を合わせて合図して呼吸を合わせながら慎重に運んでいます。両手でしっかり掴んで棚に置くときもそーっと…。自分たちが使う道具への愛着を感じます。

こころも包み込む優しい手



北風が強い日も、おしくらまんじゅうみたいにからだを寄せ合えば、こころまで温かくなるね。

困ったときは、おとなだけじゃなくてつきぐみのなかまが「どうしたの?」と声を掛けてくれたり、力になろうと奮闘する事が増えてきました。時々けんかもするけれどなかまや友達は、あたたかいお日様の様な存在。